

憲法9条守り、大增税 許さない たたかいを

各地で議員・候補者先頭に新年から

日本共産党

働き盛りや低所得者・高齢者を直撃

つぶそう！
小泉
自公
大增税計画

自民、公明両党は十二月十五日、二〇〇五年度税制「改正」大綱を決定しました。同大綱は、これまで所得の低い高齢者に配慮して設けられていた住民税の非課税措置を〇六年度（〇六年六月）から三年間で、段階的に廃止することを盛り込みました。大綱に盛り込まれた定率減税の半減（〇六年一月）だけでなく、すでに決まっている年金課税強化や配偶者特別控除の廃止による増税があり、高齢者世帯を二重三重に負担増が襲うことになります。そのうえに消費税は一〇％に引き上げる方向で計画を進めています。

この大增税計画に反対するたたかいを北関東の津々浦々からおこし広げましょう。



「大增税計画やめよ、憲法九条守れ」と、新年から訴える塩川議員＝1月2日、埼玉・川越市内

憲法9条は「戦争のない世界」めざす
世界各国共通の目標

憲法九条が、いま、平和の羅針盤として、世界から注目されています。

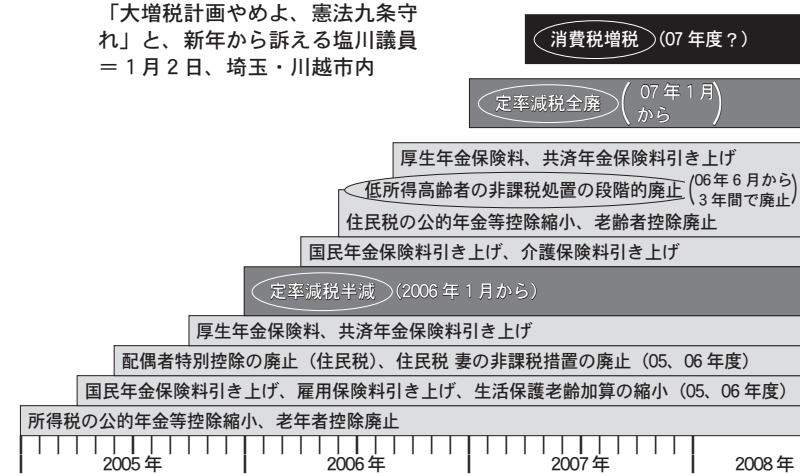
一九九九年にオランダで開かれた「世界市民会議」は、「あらゆる議会は、日本国憲法第九条のような、政府が戦争を行うことを禁止する決議を採択すべきだ」と呼びかけました。二〇〇〇年の国連のミレニアムフォーラム報告書も「各国は、日本の憲法九条のような戦争放棄条項を、憲法にもりこむべきだ」とのべています。

強めています。自衛隊を「国軍」

化し、アメリカとともに海外で武力行使する「戦争する国」に変えることをめざしています。この逆流に対して、厳しい批判の声が広がっています。



「宗教者と日本共産党との対話の集い」で平和や人権問題など多岐にわたって意見交換する森原国際局次長＝12月18日、群馬・前橋市内



アラファト議長死去で、不破議長とともにパレスチナ代表部を吊問する森原国際局次長＝十一月十二日、都内



米軍所沢通信基地の東西道路問題で「早期全面返還の立場で国と交渉を」と所沢市に申し入れる塩川議員＝十二月二十四日



日立製作所の労災事故や裁量労働制問題などで労基署に申し入れる大門議員＝十二月十七日、茨城・日立市

悪政を許さず、国民の暮らしを守るため、みなさんと力を合わせて頑張ります。今年もよろしくお祈りします。

- 日本共産党衆議院議員 塩川てつや
- 日本共産党参議院議員 吉川 春子
- 日本共産党参議院議員 大門みきし
- 日本共産党国際局次長 森原 公敏

日本共産党 衆議院議員
北関東ブロック
事務所ニュース
2005年1月 No. 29



国民の要求と苦難あるところに日本共産党あり

現場に駆けつけ 運動と結んで 多様な願い実現

仮設住宅を、中小企業・農業・医療の支援策を 被災者の声をただちに国会質問で

塩川てつや衆院議員は、新潟県中越大地震の翌二十四日、新潟県入りして十日町市や堀之内町（現・魚沼市）などを現地調査。十一月にも、震災による中小業者の被害実態をつかむため、被災地の商工会議所、観光協会、旅館組合関係者と相次いで懇談。住民、行政担当者の切実な要望をふまえて政府に要請し、国会質問でとりあげました。

塩川議員は本会議質問で、緊急にとるべき措置として、水や食料、仮設トイレなど必要な支援物資の供給、避難所への医療、保健専門家の配置



中越大地震、台風災害で食料・医療など緊急処置と支援法の改正を要求。十月二十六日、衆院本会議



新潟中越地震の調査で被災者から要望を聞く。十月二十四日、新潟県堀之内町（現・魚沼市）

消費税 大門議員の質問と関係者の連携で 消費課 無認可保育所と子どもに光

無認可保育所保育料への消費税を非課税とする措置が決まりました。大門みきし参院議員の質問と父母や関係団体のとりくみが実ったもの。財務省の来年度「税制改正」大綱にもりこまれました。

「基準」に適合する事業者に対し、「証明書」を発行するしくみです。施行日など詳細は今後、政令改正で決められることとなります。



尾辻厚生労働大臣に「無認可保育所を消費税非課税に」と要請する、全国無認可保育所連絡協議会の代表と大門議員。十一月十二日

無認可保育所連絡協議会と一緒に厚生労働大臣に要請するとともに、昨年三月と六月の参院財政金融委員会では、無認可保育所の社会的役割と子どもを預ける父母間に課税の不公平が生じることを指摘。厚労省、財務省が初めて対応策の検討を約束し、厚労省は八月の来年度税制改正要求項目に盛り込んでいました。

全国無認可保育所連絡協議会の藤崎隆会長は「画期的なことで大変喜んでいますが、貧弱な公的保育を補完している無認可保育所とその子どもたちに光があたり、保護者負担にたよらざるを得ない事態を避けることができます。」とよろこびを語っています。

パンフに注目 「「プー」させて」

「いつもいつも現地の調査をして、良い質問をしますね」——塩川議員が新潟県中越大地震についての質問後、エレベーターで乗り合わせた自民党議員からこんな声をかけられました。

「パンフレットをコピーさせてください」と塩川議員の国会事務所に総務省の職員が、党宮城県委員会が宮城県北部地震（二〇〇三年七月）のさいに作成した「救援制度活用の手引」を求めて訪れたことも。



2005年度予算について北関東4県の代表らとともに、財務副大臣に申し入れ。塩川・大門・吉川議員＝8月30日



八ツ場ダムの移転代替地・造成現場で、工事事務所から説明を受ける塩川・吉川議員＝9月24日、群馬・長野原町



郵政民営化問題で民間金融機関のない栃木・栗山村村長と懇談する塩川議員＝12月13日